令和４年（２０２２年）度　学校教育自己診断　豊中市立第五中学校

＜生徒編＞

※数値は左から2020年度➡2021年度➡2022年度

(肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数値)

◆学校生活への肯定的意見の推移

１	「学校へ行くのが楽しい」	81 ％→	84 ％→	80 ％	（とても：	46 ％→	43 ％→	41 ％）
２	「学校には多くの友達がいる」	83 ％→	84 ％→	81 ％	（とても：	49 ％→	46 ％→	43 ％）

この項目については比較的高い水準でほぼ横ばい状態であるが、少なからずコロナ禍による学校生活の変化や不安も関係していると思われる。マスク着用によりお互いの表情や感情が分かりにくい中で、友人とのつながりも薄れ、仲間づくりに消極的な姿勢が見受けられる。

◆学習への肯定的意見の推移

３	「学校は落ち着いて学習できる雰囲気がある」	67 ％→	58 ％→	78 ％	（とても：	26 ％→	22 ％→	28 ％）
４	「全般的に授業はわかりやすく楽しい」	81 ％→	81 ％→	64 ％	（とても：	35 ％→	24 ％→	28 ％）
６	「学習の分からないところについて、先生や友達に質問しやすい」	84 ％→	82 ％→	81 ％	（とても：	49 ％→	46 ％→	46 ％）

落ち着いて学習できる雰囲気が高い傾向にあり、先生や友だちに質問しやすい環境であるが、学習内容の充分な理解につながっていないと考えられる。今後、丁寧な学習指導を続けつつ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、生徒一人ひとりの生きる力を育むための学力向上を目指したい。

◆生徒と先生のかかわりに関する項目の推移

５	「先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる」	75 ％→	80 ％→	77 ％	（とても：	40 ％→	33 ％→	37 ％）
11	「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」	71 ％→	67 ％→	88 ％	（とても：	42 ％→	40 ％→	45 ％）
12	「先生はいじめや暴力など私たちが困っていることについてよく対応してくれる」	68 ％→	64 ％→	67 ％	（とても：	39 ％→	28 ％→	36 ％）
15	「学校での生活指導はきっちりしている（主に遅刻指導、忘れ物・提出物等について）」	78 ％→	80 ％→	89 ％	（とても：	40 ％→	44 ％→	52 ％）

教師側の指導や評価については、生徒の悩みや相談への対応は大きく伸びているが、いじめや暴力等についての対応や取り組みについては、評価が低いように感じる。個に応じた指導が年々増加傾向にあるが、五中が大切にしている生徒との人間関係を密にし、それぞれの個性・能力を伸ばすように、きめ細やかな指導を継続するとともに、教師と生徒の信頼関係については生徒指導等の基盤ともなる為、高い水準を継続できるよう努めたい。

◆心を育てる教育に関する項目の肯定的意見の推移

７	「学校では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」	81 ％→	83 ％→	82 ％	（とても：	44 ％→	46 ％→	48 ％）
８	「学校では、人権の大切さについて学ぶ機会が多い」	78 ％→	83 ％→	85 ％	（とても：	48 ％→	47 ％→	49 ％）
９	「学校では、人の生き方や豊かな心のあり方について考える機会がある」	77 ％→	81 ％→	84 ％	（とても：	40 ％→	40 ％→	47 ％）

この項目については、どの意見も高い水準で年々伸びている。これは、人権教育や道徳教育をはじめ、日頃の取り組みが生徒たちにも実感できるものとなっている証と言える。これまで大切にしてきた人権教育を基盤とした学校づくりを通して、より実践的な力を身に付けられるよう、今後も豊かな心を育む教育活動の充実に一層努めたい。

◆その他の推移

10	「学年通信、学校だよりなど学校から家庭へのお知らせがよくある」	85 ％→	85 ％→	82 ％	（とても：	54 ％→	46 ％→	49 ％）
13	「部活動に積極的に取り組んでいる（3年生→引退まで部活動に積極的に取り組んでいた）」	79 ％→	78 ％→	71 ％	（とても：	59 ％→	60 ％→	47 ％）
14	「まじめに清掃活動に取り組んでいる」	82 ％→	90 ％→	77 ％	（とても：	55 ％→	46 ％→	57 ％）

学校からの手紙に関する項目については、低くはないが、きっちりと保護者までたどり着いているかが気になるところである。部活動については、コロナ禍で様々な制限がある中で、五中生はよく頑張っていると感じる。また、清掃活動については、強肯定が上昇するものの、全体的な肯定的意見が８割弱となり、継続的な清掃指導や生徒委員会からの啓発活動も重要になると思われる。

令和４年（２０２２年）度　学校教育自己診断　豊中市立第五中学校

＜保護者編＞

※数値は左から2020年度➡2021年度➡2022年度

(肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数値)

◆学校生活への肯定的意見の推移

1	子どもは、学校へ楽しそうに行っている	86 ％→	82 ％→	85 ％	（とても：	46 ％→	39 ％→	35 ％）
2	子どもは、学校には友達が多いと言っている	76 ％→	66 ％→	68 ％	（とても：	35 ％→	23 ％→	25 ％）
3	学校は、落ち着いた雰囲気で、子どもたちは生き生きしている	75 ％→	60 ％→	67 ％	（とても：	20 ％→	13 ％→	13 ％）

この項目については、昨年度は大きく低下したが、今年度は肯定的意見が回復している。コロナ禍におけるさまざまな影響はあるが、楽しく落ち着いた学校づくりに向けた取り組みをさらに進めていく必要がある。

◆学習への肯定的意見の推移

4	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている	60 ％→	57 ％→	55 ％	（とても：	10 ％→	9 ％→	13 ％）
6	学習の分からないところについて、友達や先生に質問しやすいと言っている	64 ％→	66 ％→	65 ％	（とても：	21 ％→	19 ％→	19 ％）

この項目については、ここ数年ほぼ横ばいの状態となっているが、学校として、生徒が安心して学習に臨める環境を整えられるよう、日々努めていかなくてはならない。また、教師一人ひとりが、指導方法の工夫改善に努め、楽しく力のつく授業づくりを目指していく必要がある。

◆保護者と先生のかかわりに関する項目の推移

5	先生は、子どもをよく理解してくれている	78 ％→	78 ％→	79 ％	（とても：	28 ％→	24 ％→	28 ％）
11	学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる	77 ％→	78 ％→	75 ％	（とても：	29 ％→	27 ％→	29 ％）
12	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	72 ％→	66 ％→	65 ％	（とても：	28 ％→	20 ％→	20 ％）
15	学校の生活指導について共感できる（主に遅刻指導、忘れ物・提出物等について）	75 ％→	70 ％→	75 ％	（とても：	30 ％→	23 ％→	25 ％）
16	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている	69 ％→	74 ％→	70 ％	（とても：	26 ％→	22 ％→	24 ％）

生活指導全般の取り組みや生徒への対応は一定の理解を得られているように感じるが、いじめや暴力に関する項目については肯定的意見が下がってきている。家庭への連絡等、学校からの丁寧な対応は保護者に伝わっているようだが、学校の指導方針に関しては、今以上の理解が得られるよう、より一層、きめ細やかな対応が求められる。

◆心を育てる教育に関する項目の肯定的意見の推移

7	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている	81 ％→	75 ％→	72 ％	（とても：	30 ％→	21 ％→	25 ％）
8	学校は、人権を大切にする態度を育てようとしている	81 ％→	75 ％→	77 ％	（とても：	32 ％→	25 ％→	28 ％）
9	学校は、自分の将来の生き方をよく考え、豊かな心をもった子どもを育てようとしている	70 ％→	66 ％→	64 ％	（とても：	26 ％→	16 ％→	20 ％）

この項目については、生徒の肯定的意見が高く出ていた一方で、保護者には十分に伝わっていない傾向が読み取れる。人権教育・道徳教育・進路指導をはじめ、豊かな心を育む様々な取り組みに関して、保護者への発信も積極的に行い、理解を深めていくことが今後の課題と言える。

◆その他の推移

10	学年通信、学校だより、学校ホームページなどにより学校の様子をよく知ることができる	77 ％→	80 ％→	77 ％	（とても：	33 ％→	23 ％→	30 ％）
13	現在、子どもは積極的に部活動に参加している（３年生→引退まで、子どもは積極的に部活動に参加していた）	78 ％→	77 ％→	78 ％	（とても：	60 ％→	55 ％→	57 ％）
14	学校は、清掃がゆきとどいている	84 ％→	81 ％→	88 ％	（とても：	40 ％→	37 ％→	32 ％）

学校からのコドモン連絡や手紙等による発信については、一定数、保護者に届いていることが見てとれる。学校からの細やかな情報発信が周知されているようだ。部活動については、試合や練習の制限が徐々になくなり、平常時の活動にもどりつつある。今後、子どもたちの活動がさらに活性化していけば、充実度も上昇すると考えられる。清掃の状況は、保護者が学校に来校された際に、校内を見て主体的に清掃している様子を見てもらえた成果だと思われる。